



ついて首藤一般より資料に基づき提案がなされ了解された。

次年度運営委員について出席会員のご意見を伺ったが「役員一任」の動議がなされ、これを受けて伊藤委員長より、伊藤委員長始め浅野、石垣、館内の四委員の退任と佐々木宏昭、和田忠彦の二新任委員の就任案が提案され、全員一致で承認された。また、会計監事については、監査作業の便宜を考え、現監事一名

の一年留任を今年に限り認め、村上和夫、山本忠両氏にお願いすることとなった。

つづいて、伊藤委員長より、来年度は連盟創立15周年を迎えるのでこれに関する記念行事を行いたい旨の提案があり、内容については運営委員会に一任することです承された。

最後に退任される伊藤委員長にたいして会場からご苦勞をねぎらう盛大な拍手があつて終会となり、菅野委員司会の懇親会に移った。



### ●我にたためる翼あり(2)●

鈴木 東行

石巻市と仙台市のベテランテニスプレーヤーが一堂に会した「第一回石巻市仙台市交流テニス大会」が、8月25日、石巻ローンテニスクラブで開催され、地域の枠を越えてプレーを楽しんだ。

この日は、仙台市から男女あわせて12名の選手が訪れ、石巻市からも代表選手12名が出迎えた。試合は炎天下にかかわらず熱戦が繰り広げられ、成績表に見られるように、仙台勢が圧倒的強さを発揮した。

仙台市	石巻市	仙台市	石巻市
山内・細 4~3	魁・辰 4~3	峠・細 6~1	藤・淵
山内・細 4~1	魁・辰 4~3	川口・細 6~1	藤・淵
菅・峠 4~1	藤・龍 4~1	峠・石 6~5	藤・淵
菅・石 4~0	藤・龍 4~1	藤・龍 6~2	藤・龍
藤・龍 4~0	峠・藤 4~1	菅・大 2~6	藤・龍
藤・龍 4~1	藤・龍 4~1	藤・龍 0~6	藤・龍
菅・峠 6~1	藤・龍 4~1	藤・龍 6~5	藤・淵
藤・龍 0~4	藤・龍 4~1	川口・細 4~1	川口・峠
菅・大 0~4	藤・龍 4~1	藤・龍 6~0	藤・淵
菅・石 4~1	藤・龍 4~1	山内・細 4~3	川口・峠

2000年まであと一カ月、新しいMillennium(ミレニアム、千年紀)の幕開けも近づく、過去を思い、さらなるMVFの発展と交流の輪を広げることを期して、結びとします。(平成11年11月29日)



正午、ビールで喉をうるおしながら「さんま」「いか」の焼き魚を食べ、味噌、のり焼き飯を頬張りながら談笑のうち交流を深めた。

## ＊東北マスターズ大会 および ねんりんピック に参加して

多久 堯夫

九月七日、八日 秋田県大曲市総合公園で、マスターズテニス大会（第九回）が行われた。参加選手総員百八十四名（内女性八十名）で宮城県勢は男子十名、女子十八名であった。悲しい哉、天候悪く、初日午前の一試合に終わった組が殆どであった。翌日への期待も空しく昼に散会した。せめて宿舎の料理でも美味であったなら少しは救われた気持ちになったであろうに。痛感させられる事は、この様に雨天時競技の出来ない地方は計画実行する資格がないと云うべきであろう。

第十二回ねんりんピック九十九福井大会は好天下、サンドーム福井の開会式場に七千六百余の役員選手が集い、正に百花繚乱の賑わいに始まった。テニス参加者総員四百三十一名（内女子百四十一名）、七十歳以上四十五名、八十歳以上三名であり、私が高齢者賞五人の内に入れられ驚きました。

成績は、予選リーグで宮城県一勝二敗、静岡県三勝〇敗、広島県一勝二敗、鹿児島県一勝二敗で宮

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

## ＊第12回全国健康福祉祭 ふ、くい大会

ねんりんピック '99 テニス交流大会に参加して  
菅野 義治

10月10日（日）11日（月）福井運動公園テニスコートおよび福井わかばテニスコートの2会場で開催されました。テーマは「ねんりんのパワーを生かす新時代」。総合開会式はサンドーム福井に常陸宮殿下、同妃殿下のご臨席のうえ、福井出身の大和田伸也、NHK福井のアナウンサーバーランド和代の総合司会により9時30分から13時30分まで行われた。福井の伝統、産業、文化を紹介するウエルカムアトラクションで始った式典では常陸宮様のお言葉や県知事の歓迎の言葉のあと、選手入場および団長による一筆啓上が各県毎に正面の舞台で行われた。式典のあとは、五木ひろし主演のワンマンショウで閉会となりましたが、ドーム内の舞台装置、アトラクション等福井県の力の入れ方に全国からの選手の方々は大きな感銘をうけたことと思います。

おくれましたが、私は連絡責任者兼同行者という立場で参加させていただきま。

仙台市選手団 高橋恒雄監督、男子65歳 中村克宏さん、川口温弘さん、女子60歳 石垣晴子さん、菅野志津子さん、男子60歳 山内宏さん、高橋龍

城氏は第四位。四位グループで決勝トーナメント。対佐賀県戦は一勝二敗であった。女子組の渋谷、梅崎ペアの健闘が特に素晴らしかった。対佐賀県戦での強豪組を四対二で破った後の喜ぶ表情の無邪気なういういしさが心に残る。

宿舎は東尋坊の南加賀国定公園の海岸、白浜荘で、旅館自慢の海の幸を満喫した。到着の夕刻、海岸に出る。恰も真っ赤な太陽が日本海を紅に染めて没するの時であった。

「あかあかと日はつれなくも 秋の風」  
三百十年も昔、芭蕉、奥の細道の途次、その詩心を動かした眺めが正にこれか。

村越総務、和田監督の行き届いたご配慮で極めて愉快地に楽しませて頂き感謝にたえません。

一点、ねんりんピック大会に希望しますことは、開会式入場行進の選手代表、約二割は、空しく約一時間、入り口付近で待たされています。この間、式場ではウエルカムアトラクションが繰り広げられているのです。待ち人たちにはせめてテレビ観賞の出来るよう取り計っていただきたいと思います。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

夫さんの8名。メンバーの意気込みが凄く、中村さんの指導により宮城県チームのメンバーを含め、監督率先で8月下旬より10月出発の前まで毎週火、木の午後に13日間の猛特訓を重ね大会に参加しました。

10月10日の予選リーグは参加チームを15ブロック（1ブロック4チーム）に分けての総当たり戦。仙台市チームは、佐賀県、福井県B、京都府との対戦となり、佐賀県との第一試合は2-1で勝、京都府との第二試合1-2の負、1勝1負となったところで京都府が佐賀県に敗れ、仙台市と京都府が同勝率となる可能性が多くなりました。同勝率の場合にはゲーム取得率により順位がきまり、京都府には敗れても一位リーグにいけるものと思いついて、物凄くファイトで福井県Bと対戦、三種目ともに4-0と圧勝し、一位リーグへの夢を繋ぎました。しかし、開催要項に記載されている順位決定方法によれば、勝率が同じ場合は、互いの対戦結果の勝ちチームを上位とするとあり、泣く泣く第二位グループでの優勝を狙うこととし、当日の健闘を称えあいました。11日の第二位グループでの決勝トーナメントでは一回戦対宮崎県に2-1で勝。二回戦対福岡県にも2-1で勝ち準決勝への進出しました。準決勝の相手は地元福井県のAチーム、市長まで現れての大応

援、昨日福井県Bチームをコテンパンに負かしたためかやりにくい。結果は1-2で惜敗し涙をのみましたが第三位で銅メダルを獲得、ねんりんピックを無事終了しました。

日本シニア東北大会やいわきVTCなどでのたくさんの顔馴染みの方々があり、お互いに応援しあったりして触れ合いの場を沢山もつことができ、またお会いしようとの声を嬉しく思いました。東北の福島、青森、秋田、山形のチームは60歳の男子選手

を固定して、男子65歳 女子の選手は各試合毎に調子の良い選手を起用するという作戦を用いて、勝つことに全員で頑張っている気持ちが伝わってきました。

決勝戦の前に、第三位チームの表彰を済ませるなど開催県のキメこまやかな好意に感謝を申し上げます。高橋恒雄監督はじめ選手のみなさん 大変ご苦労様でした。5泊6日の楽しい、和やかなテニス旅行が出来ました。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

### ☆ 国際シニアテニス

#### 親善大会 に参加して 山内 宏

過日、11月8日～11日の4日間、日本シニアテニス連盟主催で、静岡県掛川市「つま恋」で、第三回国際シニアテニス親善大会が開催されました。種目は、男子複、60歳以上、70歳以上、80歳以上、女子複、50歳以上、60歳以上、70歳以上で、試合は、6ゲームズ1セットマッチ（6ゲームオール後、12ポイントタイブレイク）で進められました。参加者は、海外9ヶ国から160名、国内12地区より252名計412名でした。第一部は、予選リーグ戦の後、各組一位による決勝

トーナメントで入賞ペアが決められ、第二部は希望者による親善混合ダブルス交流会となりました。

国内の参加者は、多くの地区では予選会で勝ち抜いた人達なので（東北地区は参加希望者の内で抽選で決められましたが）当然試合内容は、各地区のトップレベルの人達によるレベルの高い大会となりました。今回、幸運にも、抽選の結果、始めて参加することが出来ましたが、あこがれの地「つま恋」で海外のテニスプレーヤーや国内のテニスプレーヤー達と4日間もの間、親善交流のための試合、テニスを楽しむ事が出来て、国内大会やねんりんピックテニス交流会等とはまた違った、生涯忘れる事の出来ない良い思い出を作ることが出来たと思っております。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

### ★ 対 いわきVTC 単戦

を振り返って 大賀 延行

そもそも宮城県壮年テニス連盟といわきVTCとの親善交流大会は昭和61年の発足の翌年、昭和62年から始まった。その歴史を振り返ると第1回から第13回になる。

そのころ思い出を振り返って書いている内に走馬灯のように脳裏に浮かんで来ます。。

何と言っても一回目が印象的でした。初参加で初めてのオムニコート(人工芝)のプレーは最高でした。まだコートはそれほど仙台には無かったと思います。夜の宴会は海の幸いっぱいのお造りの数々、大変温かいおもてなしなど感激いたしました。

また二次会にと部屋を移動しての談笑など楽しい一時でした。また三次会は上山先生の部屋にて夜の更けるのを忘れて飲んでしまい、翌日は二日酔い気味、本番の親善交流大会では惨敗に終わり、みなさんにご迷惑を掛けたものでした。このころは高橋先生や山内先生など大変ご活躍でした。

回を重ねる内に親しみも増して来て、毎年が待ち遠しくなり、気の合った仲間もたくさんできました。またテニスのゲームだけではなく、夜の宴会では、飲むほどに、酔うほどに唄山内踊りが披露され、年々、磨きがかかり、いわきでは恒例の久野巳知夫さんの踊りなど、また江井さんと百澤さんとの華麗なダンス、また壮年でも負けておらず、完の志津子さんと久野さんのペアでの踊り、川口さんの軽快なダンスな

回数	日時	会場	宿泊	廻数
1	S62, 9, 14~15	小名浜CC	小名浜CC	20
2	S63, 9, 24~25	サンスポーツ蔵王	宮城サンルートH	13
3	S64, 9, 17~18	駒子ハイヴ	いわきサンルートH	23
4	H2, 11, 17~18	グリーンピア岩沼	グリーンピア岩沼	40
5	H3, 9, 28, 29	グリーンピア二松	岳温泉	16
6	H4, 9, 27~28	サンスポーツ蔵王	リゾートイン蔵王メッツ	30
7	H5, 9, 25~26	ルネッサンス橋倉	ルネッサンス橋倉	17
8	H6, 9, 24~25	サンスポーツ蔵王	遠刈田温泉大志旅館	32
9	H7, 9, 30~10, 1	総合スポーツセンター	小浜とりにん旅館	25
10	H8, 9, 28~29	B&G海洋センター	遠刈田温泉大志旅館	38
11	H9, 9, 6~7	福島赤松台TC	土湯温泉駒山荘	30
12	H10, 9, 19~20	B&G海洋センター	蔵王ハイヴ	35
13	H11, 9, 25~26	いわきかんぽの宿TC	いわきかんぽの宿	37

ど無くてならない芸人揃いと相成り、これまた毎年の楽しみの一つでもありました。それから何と言っても、第9回<sup>（ツル）</sup>の双葉富岡宿泊「とりふじ別館」の宴会では伊藤委員長の「安来節」の踊りは絶品であり、二度と拝むことの出来ない見事なもので、大喝采でした。また色々な企画に盛り上がり、ジャンケンで札の取り合い、磁石を使って魚を釣り上げる、マッチ棒を口にくわえ輪ゴムを相手のマッチ棒めがけて輪を受け渡し早く終わった方が勝ち、等等、数々のゲームが大変楽しい宴会の思い出がたくさん浮かんでき

※※※

## ◆◆テニスとの再会◆◆

(早朝テニス) 青木 興一

会社の健康診断で、コレステロールと血糖が高目にて、精密検査を受けさせられた。自分ではどこにも異常がないと思っていただけにショックが大きかった。いわゆる厄年を迎える前であり、何かしなければと体質改善を図るために運動をしようと決心した。

思えば、高校、大学、社会人と断続的にはあったが、可成り真面目にテニスをやってきた。仙台に来て、一時は田中英八郎先生などの気違い仲間連れ出され、評定河原で月明かりの中でボールを追ったことも度々であった。その後、しばらくはテニスの出来る環境でなくなってしまうため、また忙しさに紛れ、テニスは勿論、運動らしい運動を行うことも無かった。

こんな時、家人から新聞に出ていた、宮城野原運動場のテニス教室と早朝テニスの会員募集の案内を見せられた。日ごろの運動不足解消のためにも、昔とった何やらでテニスならと思い早朝テニスに申し込んだ。早朝テニスは宮城野原運動場の主催行事として、朝5時から7時までの早朝にテニスコート<sup>（）</sup>を無料で県民一般に使用させるものであった。使用にあたっては、宮城野原早朝テニスクラブを組織し、役員を中心として自主的に運営し、コート整備を含めた管理を行っていた。

久しぶりにラケットを手にし、ボールに向かってみると、思ったようには体が動かず、ボールとの距離感も掴めず、散々の状態であった。加えて、夜型の生活だった者が早起きをして運動をしたので、昼間、仕事の最中に眠気を催す等体が悲鳴を上げていた。しかし、三回、四回と回を重ねる内に体も動くようになり、ある程度自分のプレーが出来ようになった。この年の早朝テニスの会員は、全体で250人の大所帯であり(硬式約180人、軟式約70人)、いくつかのグループに分かれて、グループ毎にプレーを行っていた。慣れてくるにつれ、周りを見渡す余裕が出てくると、全体的に初心者が多いためもあり、いつの間にか、教

ます。今年度はいわきのお当番で壮年テニス連盟もこれまでにない人数を動員、結果は惜しくも大敗してしまいました。いわきの人達は女性が大変強いチームであり、これは今日人数<sup>（）</sup>至り健在であることは言うまでもありませんが、それでも今回は女性軍が大奮闘し、初めていわきの女性軍を破ったのは快挙でありました。また男性軍が健闘空しく敗れ、いわきの若い人達に軍配があがった。非常に残念に思う。しかし、勝敗にこだわらず、いつも楽しい交流会でありたいと願い、いつまでも続くことを祈ります。

える側にまわってしまっていた。打ち方を聞かれたり、球だしをしたりで忙しく、自分の練習は思うようにはならなかったが、教えながらも足を動かしていた。当初の目的であった運動不足解消のために、雨の日以外のコート解放日には出来る限り参加したので出席率は高かった。秋を迎える頃には、その年の新入者で来年に向けて一つのグループを造り、活動しようとの気運が高まり、その中心に祭り上げられてしまった。そのグループでは、早朝だけではなく、月に二三回、休日の昼にもテニスを楽しむとの方向でまとまった。準備と称しながら、早速休日に使用可能なコートをあちこち探し、練習会を重ねた。活動的な女性中心に、ブルースカイテニスクラブ(BSTC)というチーム名称まで決められ、次年度からはこの名称で早朝テニスの登録をすることとなった。

二年目からは、早朝テニスクラブの役員も仰せつかってしまい、運動場との打ち合わせを含め、参加者が楽しくプレー出来る環境作りに携わった。最盛期には、硬式だけで300人近くの登録者があり、参加者が多い日には時間交替制でプレーしたり、初心者指導の充実を計ったり、大会的な行事を取り入れたり<sup>（）</sup>と計画、交渉、実施と他の役員さんと協力しながら動き回っていた。日曜、祝日はいつの間にかやら毎回BSTCの練習日となってしまい、10時から4時、5時まで練習、ゲームと活動しており、寝ていようものなら電話で呼び出される始末で、数年前までは全く考えもしなかったテニス漬けの日が六年位続いた。

事情により、早朝テニスの方は続けられなくなってしまったが、BSTCの活動は、現在も多賀城のコートを中心に継続している。

早いもので、テニスと再会して今年で十八年が過ぎた。お陰で、健康状態も改善され、現在では健康診断で異常なしが続いている。早朝テニスに参加することによって、多くのテニス仲間と知り合い、テニスが続けられていることは、大変幸せなことだと感じている。

## ????? 日本のテニスは????? ウィンブルドンより古い

日本で初めて「テニス」がプレーされたのはいつの頃であったかご存じでしたか。日本の何処で? 誰が?。

横浜市山手町にあります山手公園の一角に「横浜山手テニス発祥記念館」があります。この記念館の設立にあたっての市長さんのメッセージをご紹介します。

「山手公園は1870年(明治3年)に横浜居留外国人の手によってつくられた我が国最初の洋式公園である。1876年我が国で最初のローンテニスがこの公園でおこなわれた。また、ヒマラヤ杉もこの地から始まった。1878年(明治11年)には日本最初のテニスクラブである「レディズ・ローンテニス・アンド・クローケー・クラブ(LLT&CC)」がこの地に誕生した。以来、外国人の公園として、戦後は市民のスポーツの憩いの場としてあゆんできた。こうして山手公園とテニス発祥の歴史を記念して、ここに「横浜山手・テニス発祥記念館」を建設した。」

イギリスで現行のローンテニスが考案されたのが1874年、翌年の1875年にウィンブルドンがこれを取り入れ、「オールイングランド・クローケー・アンド・ローンテニス・クラブ」と名前を変えたのが1877年だそうで、横浜ではこの一年前に山手公園で実際にプレーされていたようです。さらに、興味をそられることは、日本最初のテニスクラブ(LLT&CC)はその名前の通り、女性(主としてイギリス人)だけのテニスクラブであって、男性は名誉会員であったことです。当時のウィンブルドンでは女性は会員になれなかったことを考えると、来日したイギリス女性の本国での鬱憤をはらす場所づくりであったのかも知れません。勿論、グラスコートでボールと花付きのボンネット、フリル付きの長袖のブラウスで、襟元にはリボンかタイが結ばれ、芝生まで届くロングスカートに長手袋をつけて「レッツプレー、ラブオール」などとやっていたのでしょうね。残念ながら日本人が実際にプレーするようになるにはもうすこし時間がかかったようです。このように外国人がテニスをしているのを見て、当時の横浜のひとたちは、「芋上げ箒で毬を打ち合っている」とか、「しゃもじ踊りをしているようだ」とか言ったそうです。

もう一つ面白いことは、この時期の日本政府が、「日本のは女性はスポーツをやらないから、欧米の女性に比べて体が弱い。つまり、丈夫な兵隊になる子を産めない。もっと丈夫な女性をつくらなければだめだ。そのためには、欧米の女性がやっているテニスを日本の女学校でもやらせよう。」と決断したことです。いまの日本でこのようなことを口に出すことさえ出来ませんが、とにかく、政府の肝入りで体操伝習所(後の高等師範学校)の先生の卵たちを対象にテニスの普及に力を入れたということのようです。ところが、当時のラケットやボールは全部輸入品で高価であったため、日本人特有の一工夫があっ

たようです。長持ちのする軟らかいゴムボールと日本製の安いラケット、それに、コートも芝生でなくても学校の校庭に石灰で線をひいてでも出来る軟式庭球が生まれたのだそうです。女学校で軟式庭球を伝授された若い「おなご先生」たちが 袴姿も凛々しく、赴任先の学校で生徒たちに一生懸命に軟式庭球を教えている光景が目に見えかねるようではありませんか。

ローン・テニス(硬式テニス)が日本で普及しだしたのは1920年代、大正時代に入ってからで、大学や旧制高等学校にテニス部が出来たり、デビスカップ戦に参加するようになったのもこれ以降のようです。そうしますと、我が国におけるテニスの始まり、つまり、一般市民がテニスを始めたのは、硬式テニスではなくて軟式テニスであったことになりそうです。

イギリスのウィンブルドンに行きますと、TV等でおなじみのセンターコートのすぐわきにテニス博物館があって、古い時代の写真やラケット、ボール、コスチューム等が展示されており、テニスの歴史がよく理解できるようになっております。が、ここにご紹介しております「横浜山手テニス発祥記念館」では、日本におけるテニスの歩みがよく解るように、テニス関連物品が展示されております。

山手公園に出来たテニスクラブ、LLT&CCのコートは終戦時に米軍に接収されましたが、昭和27年にもとの LLT&CC に返還されました。

昭和39年に LLT&CC を横浜インターナショナル・テニス・クラブ(YITC)と改名し、さらに、昭和57年には 横浜インターナショナル・テニス・コミュニティと改めて現在のかたちになっているそうです。手入れの行き届いたクレーコートが6面、瀟洒なクラブハウスでは小鳥の囀りや港に停泊する船からの汽笛を聞きながらイングリッシュ・ティが飲め、占きよき時代のテニスを彷彿とさせる雰囲気の中でプレーを楽しむことが出来るようです。

会員制でクラブ内の公用語は英語だそうですが、一般のテニス愛好者には、月曜から金曜日まで、「登録ビジター」という制度があり、だれでもプレーが出来るといことです。如何でしょうか、一度、記念館を訪れ、我が国のテニスの歴史を紐解きながらテニスを楽しむというアイディアは。当クラブの電話およびFAX番号は次のとおりです。

☎ 045-681-9528, FAX 045-681-8731



横浜山手テニス発祥記念館



平成11年度大会記録

平成11年度に開催されました各種大会の記録です。宮城県壮年テニス連盟の記録は三大会の優勝組です。仙台市、宮城県、東北、日本の各テニス協会主催等の公式戦については優勝及び準優勝の記録が記載されております。毎年、後期の会報（発行時期は12月下旬）に記録が掲載されます。記載漏れのないように試合結果を事務局までお知らせください。

大会名称	主催	期日	会場	種目	成績	氏名
年齢別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	5/29	泉総合運動場	女子40歳以上	優勝	細野智恵子 山崎山美子組
				女子45歳以上	優勝	佐藤勝子 和田美代子組
				女子50歳以上	優勝	高橋民子 置田真樹子組
				女子55歳以上	優勝	日野佑子 渋谷妙子組
				女子60歳以上	優勝	石垣晴子 菅野志津子組
				女子65歳以上	(実施せず)	
				男子45歳以上	優勝	佐々木宏昭 佐藤 信組
				男子50歳以上	優勝	大賀延行 和田武士組
				男子55歳以上	優勝	松山真水 神松伊三郎組
				男子60歳以上	優勝	矢田吉明 山本誠一組
				男子65歳以上	優勝	高橋重郎 本林高利組
男子70歳以上	優勝	小野泰祐 桑原義美組				
技量別ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	8/22	泉総合運動場	Aクラス	優勝	有賀吟生 佐々木宏昭組
				Bクラス	優勝	庄司信雄 加藤忠義組
				Cクラス	優勝	片平信行 金澤正美組
				Dクラス	優勝	藤東五郎 藤 征子組
混合ダブルス大会	宮城県壮年テニス連盟	10/10	泉総合運動場	Aクラス	優勝	和泉博之 山内伸子組
				Bクラス	優勝	庄司信雄 石亀幸子組
				Cクラス	優勝	細野誠一 細野智恵子組
				Dクラス	優勝	杉沢一夫 武田義子組
仙台市民総合体育大会	仙台市テニス協会			壮年D	準優勝	鈴木義昭 青木興一組
仙台市高齢者生きがい健康祭	仙台市テニス協会	10/30	泉総合運動場	男子55歳以上D	優勝	但野久雄 加藤忠義組
				男子60歳以上D	優勝	矢田吉明 山本誠一組
				男子65歳以上D	優勝	中村克宏 菅原昭夫組
				男子70歳以上D	優勝	伊藤一利 丸山 潔組
				女子55歳以上D	優勝	斎藤久仁子 (玉置雪枝)組
				女子60歳以上D	優勝	菅野志津子 石垣晴子組
				女子65歳以上D	優勝	武田義子 石川トヨ子
宮城県テニスマスターズ春季大会	宮城県テニス協会	5/8	宮城野原	男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫 (佐伯勝夫)組
					準優勝	川口温弘 神松伊三郎組
				男子65歳以上D	優勝	桑原義美 小野泰祐組
					準優勝	伊藤一利 丸山 潔組
				女子60歳以上D	優勝	梅崎千枝子 渋谷妙子組
	準優勝	北野妙子 大賀やす子組				
宮城県テニスマスターズ秋季大会	宮城県テニス協会	11/13	NASPA	男子60歳以上D	優勝	山本誠一 (坂本政紀)組
					準優勝	和田忠彦 館内規之組
宮城県春季テニストーナメント	宮城県テニス協会	4/10~	宮城野原	男子55歳以上S	優勝	高橋龍夫 高橋龍夫組
				男子55歳以上D	優勝	山内 宏 (高橋正義)組
					準優勝	川口温弘
宮城県シングルス選手権大会	宮城県テニス協会	7/15~	泉総合運動場	男子45歳以上	優勝	高橋龍夫
宮城県テニス選手権大会	宮城県テニス協会	9/18~	泉、宮城野原	男子55歳以上S	優勝	藤東五郎 (高橋正義)組
				男子55歳以上D	優勝	川口温弘 (本田 徹)組
					準優勝	藤東五郎
東京オープンテニス選手権大会	東京テニス協会	4/26~	有明テニスの森	男子60歳以上S	優勝	高橋龍夫 (石黒 修)組
				男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫
東北ベテランテニス選手権大会	東北テニス協会	8/2~	泉総合運動場	男子60歳以上S	優勝	高橋龍夫 (石黒 修)組
				男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫
				男子65歳以上S	準優勝	川口温弘
				男子65歳以上D	優勝	中村克宏 神松伊三郎組
					準優勝	嶋田 剛 (大場英一)組
関東オープンテニス選手権大会	関東テニス協会	6/2~	朝日生命久我山	男子60歳以上S	準優勝	高橋龍夫 (石黒 修)組
				男子60歳以上D	優勝	高橋龍夫
全日本ベテランテニス選手権大会	日本テニス協会	9/28~	名古屋東山	男子60歳以上S	準優勝	高橋龍夫

**◆平成11年度催事報告◆**

次ぎの表は本年度当連盟が開催いたしました各種テニス大会の実施内容をまとめたものです。

行事名	期日	参加数	歳/コート数	コート
室内D 1	1/30	34	11.3/面	H
室内D 2	2/11	33	11.0	H
WEEKDAY交歓	4/23	39	9.8	MS
WEEKDAY交歓	5/18	27	6.8	MS
年齢別大会	5/29	70	5.8	IS
WEEKDAY交歓	6/15	40	10.0	MS
WEEKDAY交歓	7/9	44	11.0	MS
WEEKDAY交歓	8/11	43	10.8	MS
技量別大会	8/22	92	7.7	IS
WEEKDAY交歓	9/11	32	8.0	MS
フーダブルス交歓	10/3	43	7.2	AC
WEEKDAY交歓	10/5	36	9.0	MS
混合ダブルス交歓	10/9	62	6.2	IS
110歳ダブルス交歓	10/23	17	5.7	AC
連盟祭り	11/6	84	12.0	IS

H: キリン室内、MS: 宮城野原、IS: 泉、AC: 青葉山

雨天のため、青葉山コートでの大会が二回、WEEKDAY交歓会が一回計三回が降雨のため中止となりましたがその他は比較的好天に恵まれ、事故もなく完了することが出来ました。WEEKDAY交歓会は好評を得ておりますので次年度は回数を増加して(12回を予定しております)楽しみたいと計画しております。  
ものの本によりますと、不特定多数の人達が集まり、テニス(主としてダブルスゲーム)を一日楽しむ場合、コート一面につき10名前後が最適数であり、8名以下では、スタート時点で楽しくプレー出来ても、段々と疲れが増して来て、終盤ではプレーがなござりになってしまい、12名以上になると待ち時間が長すぎてリズムを崩すことになり、テニスをする楽しさが半減するそうです。テニスをする楽しさはその日の天候、コートコンディション、コートの環境、そして一緒にプレーする仲間などにより左右されますので、いちがいには、面数と参加人数という単純な二つの要素だけで決められません、それにしても、あまり長く待たされるのは面白くありません。超元気人は別として、一日にワンセットマッチが4～5回あとは楽しくお弁当とおしゃべり、こんなペースが当連盟の在り方でしょうか。WEEKDAY交歓会に人気があるのもこのあたりでしょうか。他の今年度の連盟主催テニスの集まりでは用意されたコート数と参

加人数の関係についてどのような感想をお持ちになっていらっしゃるでしょうか。データとご自分の経験とを比較してみてください。運営委員会では皆さんの楽しさがより大きくなるようコート数を考えて行く方針です。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

**◆泉コートがお化粧直し?◆**

2000年の全国都市対抗、2001年の国体開催を前に、泉の市営コートが改修されます。長年の皆さんからのご要望の成果が実ったのでしょうか。仙台市もようやく重い腰を上げてくれました。県テニス協会では仙台市からの要請もありまして、改修に関連しての意見書を作成、市当局に提出しました。その内容は、改修期間や当面の予算等を考慮に入れて、国体テニス競技に適した、また、国体後の市民のテニスの便宜を考えたもののようです。既存のコートの南面に二面の透水性基礎を持つ人工芝コートが新設され、今までのコートも透水性基礎をもつ人工芝コートとし、植栽、防風、防眩ネット、観客用の簡易椅子、スコアボード、などの付帯設備の改善がおりこまれております。完成まじかの仙台ドーム内には国体用として6面のコートが用意されるようですが、国体時のみではなく、一般市民が常時使用出来るコートにしてほしいものです。これについても、関係当局にたいする多くの皆さんの熱い要望が必要となりましょう。テニスコートが良くなることは楽しいものです。しかし、要望もさることながら、来る都市対抗、続く国体開催に向けてに私たち連盟も出来る範囲で協力をしようではありませんか。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

**◆平12年度室内ダブルスを楽しむ会◆**

下記の要項で恒例の室内ダブルスを楽しむ会を開催いたします。次年度の室内ダブルスは、コート借用の関係で一回のみの開催となります。2月は降雪も多く、屋外でのテニスはつい億劫になりがちです。「テニス冬眠」防止にもなります。ご参加下さい。参加希望者はハガキまたはFAXで事務局宛て申し込んで下さい。参加人数を36名に限定させていただきます。定員になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込み下さい。

日時：2月11日(祝日)9:30~17:30まで  
会場：キリンSP広丁コート・会費2500円/人

\*\*\*\*\*  
編集発行 宮城県壮年テニス連盟運営委員会  
事務局  
\*\*\*\*\*